

	事業名	実績	課題と今後の方向性
1	<p>【基本方針1・2・3・4・5】</p> <p>東区民まつり開催経費</p>	<p>【H25】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■前夜祭 11月3日(日) 18:00～20:30</li> <li>■本 祭 11月4日(月・振休) 9:30～16:00</li> <li>■参加者 約5,300人(前夜祭 約800人、本祭 約4,500人)</li> </ul> <p>【H26】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■前夜祭 11月23日(日) 18:00～20:30</li> <li>■本 祭 11月24日(月・振休) 9:30～16:00</li> <li>■参加者 約9,000人(前夜祭 約2,000人、本祭 約7,000人)</li> </ul>	<p>【課題】</p> <p>現在、区民まつりは行政主導で行っているが、住民主体のまちづくりを推進していくためには、住民が企画立案の段階から参加できる区民まつりに転換する必要がある。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>過去2回の開催によって「東区を知る」及び「区役所を知る」という目的はほぼ達成された。今後は、住民と行政の役割分担を明確にしながら、住民が主体となって企画運営を行う組織体制を段階的に構築していく。</p>
2	<p>【基本方針1】</p> <p>【H25】</p> <p>東区長杯(東区小学校交流サッカー大会)</p> <p>【H26】</p> <p>東区民文化スポーツ交流事業</p>	<p>【H25】</p> <p>(実施日、場所)</p> <p>平成25年8月10日(土)9:00～17:30</p> <p>運動公園スポーツ広場</p> <p>(参加校) 12校(256名)</p> <p>画図小・健軍小・秋津小・泉ヶ丘小・尾ノ上小・託麻東小・託麻西小・託麻北小・託麻南小・健軍東小・山ノ内小・長嶺小</p> <p>【H26】</p> <p>○東区ミニバレーボール大会(東区と校区体協との共催行事)</p> <p>平成26年10月26日(日) 健軍東小学校・東町中学校</p> <p>(参加校区) 男性の部 15校区 女性の部 16校区</p> <p>○東区小学校交流サッカー大会(東区と市サッカー協会の共催行事)</p> <p>平成27年2月14日(土) パークドーム</p> <p>(参加校) 16校(21チーム331名)</p> <p>○ピアクレス七夕まつり笹飾りコンクール表彰式(健軍商店街振興組合主催行事)</p> <p>平成26年7月3日(木)</p> <p>(参加団体) 健軍保育園他15園 ※区賞を贈呈</p> <p>○ちびっこまちづくり相撲大会(健軍校区主催行事)</p> <p>平成26年10月25日(土)</p> <p>(参加校) 健軍小学校他5校 ※団体の部優勝校へ区長賞を贈呈。</p> <p>○汀女顕彰俳句大会表彰式(画図校区まちづくり委員会主催行事)</p> <p>平成26年11月30日(日)</p> <p>(表彰者) 小・中・高校生、一般の部50名</p> <p>※一般の部、中・高校生の部、小学生の部の特選者に区長賞を贈呈。</p> <p>○東部地区駅伝競走大会(東部地区体育振興会主催行事)</p> <p>平成27年2月1日(日)</p> <p>(参加チーム) 中学男女、校区、一般の部合わせて60チーム</p> <p>※一般の部と校区の部優勝チームに区長賞を贈呈。</p>	<p>【課題】</p> <p>スポーツ大会に関しては、スポーツ振興ではなくスポーツ交流によるまちづくりであるため競技色が強くないよう努める必要がある。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>区民のスポーツ交流大会や各地域に根ざした文化活動等に対し、広く区民の参加を促すことにより、住民相互の交流や地域団体の連携強化、また住民の地域への誇りや愛着心を育むなど、地域のコミュニティ機能を高めていく。</p>

	事業名	実績	課題と今後の方向性
3	<p>【基本方針1・3・4】</p> <p>【H25】 江津湖ウォークラリー</p> <p>【H26】 託麻史跡めぐりウォーク</p>	<p>【H25】 (実施日) 平成25年10月6日(日)9:30～13:00 (参加者) Aコース 男性10名、女性26名 Bコース 男性7名、女性30名 ノルディック体験コース 男性7名、女性36名 計24名 92名 合計116名</p> <p>【H26】 (実施日) 平成26年11月1日(土)8:30～12:30 (参加者) 神園山コース 男性27名、女性34名 小山山コース 男性33名、女性25名 合計119名(内引率者20名)</p>	<p>【課題】 市が中心となって開催される江津湖フェスタや託麻三山会等における地域活動により、地域間・世代間の交流が行われている。今後、さらに区民主体による自然や歴史遺産に対しての保全意識の更なる向上が必要である。</p> <p>【今後の方向性】 自然や歴史遺産を地域とともに保全・活用できる活動を推進していく。</p>
4	<p>【基本方針1】</p> <p>【H25】 ・まちづくりサポーター養成事業(広報) ・区だより作成経費</p> <p>【H26】 地域情報受発信充実事業</p>	<p>【H25】 ■広報サポーター(まちづくりサポーター養成事業(広報)) ・H25年5月にサポーター募集を行い、16名が応募。 ・広報サポーターの役割や広報紙作り、Webの活用、フォロー研修等、全8回の養成講座を実施。 ・広報誌発刊の研修も兼ねて、区だより(ひがっぴいだより)編集作業の一部を協働で行った。</p> <p>■東区だより(区だより作成経費) ・東区まちづくりビジョン概要紹介と地域情報を自治会回覧により年2回(10月・3月)発行した。</p> <p>【H26】 ■広報サポーター 2年目は、区への地域情報の提供をはじめ、区職員と一緒にFacebookを使った地域情報の発信や区だよりの編集、また広報に関する意見交換会の場である東区連絡広報会議(年5回)へ参加する等実践での研修を行った。</p> <p>■東区だより 東区18校区の概要や年間イベントを3校区ずつに分けて紹介したほか、東区の季節のイベント紹介、まちづくりに関わっている方へのインタビューなど各地域の魅力を、広報サポーターの参画のもと作成し、各戸配布で年4回(6月・9月・12月・3月)発行した。</p>	<p>【課題】 ・区内の地域情報、まちづくりの取り組みなどを区だより、ホームページ、Facebookを活用し、広報を行っているが、若い世代に情報が十分に届いていない。 ・若い世代を対象に広報サポーターの2期生を募集したが、応募者数は2名で、募集があつていたことすら知らない人が多い。 ・東区だよりは区内の各家庭に全戸配付を行っているが、存在を知らない人もいる。</p> <p>【今後の方向性】 ・若い世代にも届く情報発信方法や区だよりの認知度向上のため、若い世代の意見を取り入れながら手法を検討する。</p> <p>■広報サポーター ・H27年度、若い世代を対象に2期生を募集し、大学生の2名が応募。 (平成27年9月1日現在 計16名 1期生14名・2期生2名) ・若い世代へ情報を効果的に発信するため、2期生を含めた広報サポーターと協働で「twitter(ツイッター)」を活用した情報発信方法を検討するとともに、情報ニーズの把握を行う。 ・新たに加入した2期生を含め、より効果的な広報を行えるよう、スキル向上のためのフォロー研修を行う。</p> <p>■東区だより 今後は、区だよりの認知度向上をめざして、多世代のニーズに沿った住民に身近でタイムリーな情報を、ホームページやFacebookと併せて引き続き広報サポーターと協働で発信していく。</p>
5	<p>【基本方針1】</p> <p>地域コミュニティづくり支援補助金</p>	<p>【H25】 5団体(校区1、町内自治会4) 736千円</p> <p>【H26】 7団体(校区3、町内自治会3、まちづくり委員会1) 972千円</p>	<p>【課題】 政令指定都市へ移行してから3年が経過し、補助金制度の有り方を検討するためのアンケートを行ったが、現行のままでよいとの意見が多かった。また、活動資金や人的体制が整っている町内自治会は、補助制度を利用し新規事業を展開したり事業の拡大ができるが、一方で補助制度を利用する余力のない自治会も存在する。</p> <p>【今後の方向性】 当面は現行制度を継続しながら、地域の現状やニーズを把握したうえで必要とされる支援制度への見直しを行う。</p>

	事業名	実績	課題と今後の方向性
6	<p>【基本方針1・4】</p> <p>【H25】 託麻三山を生かした活性化事業</p>	<p>【H25】 4月は「たくま88ヶ所めぐり」(雨天中止)、11月には「託麻の秋史跡と札所巡りウォーク」、その間、毎月第3、5土曜日に史跡めぐりを実行委員会の方々と協働で取り組んだ。 また、9月に「託麻三山の史跡と歴史学習会」を開催。従来の講義形式ではなく、参加者自らが参画する学習会として、マップやルートづくり、史跡の学習会も併せて開催。マップについては4つのコースを作成。</p> <p>【H26】 託麻史跡めぐりウォーク(再掲)</p>	<p>【課題】 史跡・札所の老朽化及びルートの整備不良が見られる。</p> <p>【今後の方向性】 区内外からのマップの問合せも多く関心の高さが窺えることから、整備の検討とあわせて実行委員会を中心とした地域での活動の拡大を検討していく。</p>
7	<p>【基本方針1】</p> <p>【H26】 東区管内の史跡等文献整理事業</p>	<p>【H26】 関係資料の整理及びデータ化を委託 (委託業者)公益財団法人 熊本市シルバー人材センター (参考文献)たくまふるさと大学資料、ふるさと秋津の歴史、ふるさと東部の歴史、画図関係の資料 他</p>	<p>【課題】 東区の歴史や文化を次世代に継承するための、人材や機会が不足している。</p> <p>【今後の方向性】 東区の魅力を守り育てる活動として歴史学習講座等を開催していく。</p>
8	<p>【基本方針1】</p> <p>【H25】 東区シンボルマーク作成事業</p>	<p>【H25】 シンボルマークは、平成25年5月1日(水)から6月28日(金)まで募集し、応募者数112名(うち東区在住者34名、東区以外の市内21名、市外57名)から、227点もの応募があり、審査委員会により決定した。 愛称は、審査委員会の提案により募集することとなり、平成25年11月4日(月)から12月13日(金)まで募集し、834点もの応募があり、審査委員会により7点に絞った。その後1月10日(金)から31日(金)まで区民等による投票を行い、1732票の投票があり、最多となった「ひがっぴい」に決定した。</p>	<p>【課題】 区民へのさらなる浸透を図るため周知の方法と活用の検討が必要</p> <p>【今後の方向性】 区民まつり等の行事や広報活動等のあらゆる機会を通してシンボルマークの表示を推進する。</p>
9	<p>【基本方針2】</p> <p>安全安心のまちづくり事業</p>	<p>【H25】 ・青色パトロールカーによる定期的な防犯パトロールや広報車による交通安全の街頭広報を実施(各月3回)するとともに各校区や地域で実施している防犯パトロールへ参加した。(健軍東、東町、託麻東、託麻西、託麻南、託麻北、西原、長嶺) ・安全安心まちづくり旬間中や交通安全運動期間中の大型商業施設等での啓発キャンペーンや江津湖ウォークラリー等のイベント時において、警察と協働で盗難防止や交通安全グッズ等の配布を行った。 ・東部土木センターの災害時危険箇所のデータを共有し、防犯・交通安全データを追加した安全安心マップを作成。</p> <p>【H26】 ・青色パトロールカーによる定期的な防犯パトロールや広報車による交通安全の街頭広報を実施(各月3回)するとともに各校区や地域で実施している防犯パトロールへ参加した。(健軍東、東町、託麻東、託麻西、託麻南、託麻北、西原、長嶺) ・安全安心まちづくり期間中や交通安全運動期間中の大型商業施設等での啓発キャンペーンや区民まつり等のイベント時において、警察と協働で盗難防止や交通安全グッズ等の配布を行った。 ・東部土木センターの災害時危険箇所のデータを使い、防犯・交通安全データを追加した安全安心マップを作成し、防犯パトロール及び交通安全街頭広報等に活用した。</p>	<p>【課題】 犯罪や交通事故の発生件数については、年々減少傾向ではあるがまだまだ子どもや高齢者が犠牲となるケースが少なくない。</p> <p>【今後の方向性】 地道な取り組みではあるが、継続した防犯パトロールと交通安全の街頭広報を行っていくとともに警察や地域の関係団体と協働し啓発活動等に力を入れていく。</p>

	事業名	実績	課題と今後の方向性
10	【基本方針2】 地域防災合同訓練事業	<p>【H25】 (実施状況) (参加者数) ・西原校区(6月9日) 700人 ・若葉校区(11月2日) 300人 ・健軍校区(11月17日) 450人 ・泉ヶ丘校区(2月23日) 456人 ■まなぼうさい ・桜木・桜木東校区(11月30日) 400人</p> <p>【H26】 (実施状況) ・若葉校区(11月1日) 250人 ・健軍校区(2月16日) 412人 ■まなぼうさい ・泉ヶ丘校区(2月22日) 427人 (まなぼうさいは雨天のため中止、東区との合同訓練のみ)</p>	<p>【課題】 ・校区全体での訓練を対象とするため、町内によっては住民への参加協力がうまくいかないなど調整が難しい。 ・実施校区が固定化しており、未実施の校区の訓練参加が進んでいない。</p> <p>【今後の方向性】 ・地域の会合・会議の場を利用し、校区訓練の必要性や効果について説明を行い、新規の実施校区を増やしていく。 ・繰り返し訓練を実施している校区では、より実践的な行動の習得が期待できる。また、過去に経験がない校区では、避難のイメージを持ってもらう訓練を実施するよう呼びかけるなどの掘り起こしを行う。 ・危機管理防災総室や消防局と連携を図りながら、地域の災害に対する意識の高揚と地域防災力の強化を図っていく。</p>
11	【基本方針3】 まちづくりサポーター養成事業(健康)	<p>【H25】 ■東区健康まちづくりサポーター養成講座 [実績] 実31名(延べ124名) [内容] 全8回講座 サポーターに期待されているもの、健康課題について、行動変容について、健康に関する基礎知識Ⅰ・Ⅱ、健康ボランティアとの交流、保健師との交流等</p> <p>【H26】 ■東区健康まちづくりサポーター養成講座 [実績] 実22名(延べ125名) [内容] 全8回講座 ボランティアの役割、区の健康課題、食事や運動、歯科の健康教育、健康まちづくりサポーター1期生や食生活改善推進員、8020推進員との交流会等 ■東区健康まちづくりサポーターフォローアップ講座(H25年度修了生対象) [実績] 1期生21名 ・講座参加状況 :実21名(延べ58名) ・地域活動参加状況:実17名(延べ64名) [内容] 全4回 ・食や運動等の実習を中心としたフォローアップ講座</p>	<p>【課題】 ・健康まちづくりは地域の特性や個性を活かしながら住民や関係機関の方々と一緒に取り組む「健康」をテーマとしたまちづくりであるため、地域の健康課題等を一緒に考え活動を推進していく人材が必要であり、18校区全てにサポーター養成を目指しているが、まだサポーターがいない校区がある。 ・サポーターによる健康増進の取り組みや啓発を継続していくため、サポーターの継続的な学習の場や、活動促進の仕組みが必要である。 ・サポーター養成は3年目であり、地域での認知度はまだまだ低い</p> <p>【今後の方向性】 ・健康まちづくりサポーター養成講座の継続 ・健康まちづくりサポーター修了生のフォローアップ講座の実施 ・健康まちづくりサポーター修了生による組織育成への支援(健康まちづくり推進協議会の設立支援) ・小学校区単位に健康まちづくりサポーターによる地域活動の実施支援</p>
12	【基本方針3】 【H26】 介護予防教室の開催	<p>【H26】 東区の5つの地域包括支援センター(ささえりあ)の各圏域で毎月実施。 対象: 概ね65歳以上の要介護(支援)認定を受けていない人 内容: 自宅でできる運動の指導、体力測定、血圧測定、講話など参加 ・ささえりあ尾ノ上...130人参加 ・ささえりあ保田窪...479人参加 ・ささえりあ託麻...352人参加 ・ささえりあ江津湖...426人参加 ・ささえりあ桜木・秋津...206人参加 合計 延べ1,593人参加(H26.4~H27.3)</p>	<p>【課題】 ・地域住民がいつでも気軽に立ち寄り、相談できる場所の認知度が低いことから、窓口を増やし啓発を行うと共に、介護予防サポーターの活動の活性化に向け、住民ボランティアのマンパワーの確保や関連事業所と包括センターや行政との連携を強化していくことが必要と考える。</p> <p>【今後の方向性】 ・介護予防教室を担っていく介護予防サポーターのフォローアップを充実させ、住民ボランティアの養成を積極的に行っていく中で、町内単位や隣保組単位の小さな活動から、校区そして地域全体へと活動を拡大していく取り組みを「地域包括支援センター(ささえりあ)」を中心にしながら展開し、持続可能な体制づくりをサポートしていく。</p>

	事業名	実績	課題と今後の方向性
13	<p>【基本方針3】</p> <p>【H26】 認知症徘徊模擬訓練モデル事業</p>	<p>【H26】 日時：平成26年11月30日(日) 午前 場所：西原小学校周辺、西原小学校体育館 内容：認知症の講話、寸劇、捜索、声かけ 参加者：校区自治会、校区社協、民生委員、介護事業者、医療機関、地域住民など 約200名</p>	<p>【課題】 ・認知症が充分理解されていないことから、「認知症をよく知ること」が、適切な対応をするために必要であり、認知症が「老化」ではなく「病気」であるということを住民一人ひとりが十分理解する事が求められるものとする。このことから、訓練を実施する前段で、「認知症」に対する勉強会等を開催し理解を深める取組みが必要であるとする。</p> <p>【今後の方向性】 ・現状は、モデル校区を選定し実施しているが、次年度以降は希望校区が自主的に訓練が実施できるよう、「地域包括支援センター(ささえりあ)」と共にその支援体制の充実を図っていく。 ・将来的には、地域の関連する組織や地域団体へ積極的に参加要請を行い、徘徊の発生から保護までの情報伝達の流れの訓練を充実し、地域としての「見守りネットワーク」の構築を目指していく。</p>
14	<p>【基本方針5】</p> <p>【H26】 東区若手農業者ネットワークづくり推進経費</p>	<p>【H26】 ○農畜産物販売会 ・春(5月4日、11日)、秋(10月26日)の朝市、区民まつりでの販売会 ○経営研修 ・生産技術研修会(5月21日) ・農業経営研修会(8月19日、2月2日) ○新規就農者との懇談会(2月2日) ○先進地視察研修 ・福岡の種苗センター、道の駅視察(9月9日) ・玉名市の農家視察(2月25日) ○農業体験 ・からいも植付(6月7日)、収穫体験(11月29日)</p>	<p>【課題】 東区若手農業者ネットワーク(東区アグリネット)は会員も増え、経営研修、先進地視察研修、農畜産物販売会等順調に行われており、今後は、東区の魅力となる農業を目指し、経営の安定を図っていく必要がある。</p> <p>【今後の方向性】 東区若手農業者ネットワーク(東区アグリネット)による、東区管内の農畜産物の魅力を市民に伝え、かつ市民と生産者が直接話し、販売する機会を作ることで若手農業者の育成は図る。加えて先進地視察や経営研修を行うことにより、これからの地域を担う農業後継者としてのスキルアップを目指す。 また、東区アグリネット会員を地域農業の未来の設計図である人・農地プランにおける中心的経営体として位置づけ、地域が抱える高齢化に伴う担い手不足や耕作放棄地等の問題解決につなげていきたい。</p>
15	<p>【推進に向けて】 東区区政モニター事業</p>	<p>【H25】 東区の現事業に対する意見提出や新規事業提案に向けて、モニター登録者を対象に東区の課題や取り組み、まちづくりビジョンについての見識を深めるための研修会を開催(6回)。</p> <p>【H26】 東区のまちづくりにおける課題の選出を行い、解決に向けた具体策や方向性についての会議を開催した(6回)。</p> <p>※モニター任期2年 登録者数28名(H25,26年度)</p>	<p>【課題】 住民主体のまちづくりを進めるうえで、地域住民や各団体との連携・役割分担が必要不可欠となっており、住民に区政運営に対する理解を深めてもらうと共に、行政だけでは把握しづらい地域の課題、住民視点での必要な取り組みなど多岐にわたる意見を収集・分析し区政運営の参考とする必要がある。そのため、平成25年度からモニター事業を行っているが、ビジョンを実現するためには様々な世代の視点で捉えた意見が必要となっている。</p> <p>【今後の方向性】 多世代の意見をもとに区政運営を進める必要があるため、特にこれからの地域を担う若い世代(学生～子育て世代)を対象としたモニター事業を重点的に展開する。</p>
16	<p>【推進に向けて】 地域課題検討会開催経費</p>	<p>【H25】 検討課題は「ごみマナー」及び「地域団体の人材育成」の2つのテーマ。地域団体から推薦された方と区役所職員が協働で議論し解決策を検討。事前研修1回、検討会7回、全8回実施。</p> <p>【H26】 ■地域課題検討会 検討課題は「地域活動への理解促進及び新旧住民の交流」及び「団体の情報提供」 地域団体から推薦された方と区役所職員と一緒に議論し解決策を検討 全8回検討会実施(参加人数)地域から19名、職員10名、合計29名</p> <p>■モデル実施地区 25年度検討会でまとめた改善策を検証するため、モデル地区において試行的に実施。 (モデル地区) 桜木3町内自治会、東町7町内自治会、尾ノ上4町内自治会 (取り組みテーマ) ごみマナー</p>	<p>【課題】 モデル地区として取り組んだ町内においては一定の成果が得られている。モデル地区での取り組みが、他の地域へ拡大されるかが課題である。また、モデル地区としての取り組みが終了した後も、地域が主体となって継続的に実施していく体制づくりが必要である。</p> <p>【今後の方向性】 モデル地区で取り組んだ内容について、他の地域にも拡大していくよう周知を図っていく。また、今後、地域が主体的に取り組んでいけるようアドバイザーの派遣等を行う。</p>